

令和4年度 第1回 学校運営協議会の報告

令和4年5月23日15時30分より、令和4年度第1回学校運営協議会を開催しました。

出席者 木原俊行（会長）、中川智皓（委員）、富士原純一（委員）、山本博資（委員）、山本美恵子（委員）
欠席者 神田敏生（副会長）

学校長挨拶・委員紹介及び事務局紹介に続いて本校生徒代表2名（自治会会長及び副会長）がコロナ禍の中、高校へ入学してからの2年間の思いを話した。

委員からの質問

- ・コロナだからこそできたことは何か ・清香会からできる支援はあるか
- ・PTAができることは何か ・オンラインの活用 ・コロナ禍での活動の工夫など

生徒たちの答え

- ・コロナがあったからこそ、『夕陽祭』（体育祭、文化祭の合同行事）や体育館での体育祭などが実施できた。 ・クロムブックのICT活用で、提出物、教員とのコミュニケーションを自分の端末で出来ることは便利。 ・機械が苦手なため提出が遅れることもある。 ・持ち運びが大変。
- ・濃厚接触者になった時、リモートを通じて参加することで学校とつながることができた。
- ・PTAで文化祭に食品バザーを出店してほしい。

※委員の方に見ていただいた資料は以下の3点。

- i 令和3年度学校評価
- ii 令和4年度学校経営計画
- iii 授業アンケートについて

<議題・協議事項>

校長の重点項目①～④を中心に協議を進めました。

① 進路実現…生徒個々の学習時間

目標の決定を早めるために情報提供。モチベーションをアップし、家庭学習時間を増やす。

② 保護者と学校のつながりを強化

今年度はPTA活動が活発にできそう。Zoomで保護者と教員がつながることもできる。最近はインスタなどで生徒の活動を見ることもできて楽しみ。新カリについては全体への説明が必要。

③ 広報活動…音楽科定員割れ

音楽科では、飛沫が気になる声楽・管楽器の受験生が激減した。今年度は説明会・体験活動などの広報に力を入れる。地域とも連携しながら行事を活性化していきたい。

④ 教員研修…ICTで教育は変わってきている

ICT推進校に選ばれ、研修を複数回行った。観点別評価については、教務部が中心となり、全体で情報共有をした。今後も継続する必要がある。免許更新講習の代わりに研修が必要になってくるので、学校と教育センターで連携をしながら研修計画が必要。

【その他のご意見・ご感想】

- ・令和4年度学校経営計画：中期的目標2（1）イの「更なる授業の充実」という言葉は抽象的で視点がぼやける。また、その自己診断の教員目標が80%とあるが、意識をもっと高く持って100%を目指してほしい。
- ・生徒の声を聞くことで、学校の雰囲気の良さがよく伝わった。

<議決事項> なし

<まとめ>

昨年、一昨年度と第1回目は書面開催となっていました。今年度は1回目から顔を合わせて開催することができました。新たな試みとして議事に先立ち、委員の皆様には2年間コロナ禍の高校生活を過ごした生徒の思いを聞いていただき、生徒の取り組んでいる様子や学校の雰囲気を感じてもらいました。

今回、委員の皆様からいただいた意見をもとに、今後もより意識を高く持って、教育活動を展開してまいります。

令和4年度 第2回 学校運営協議会の報告

令和4年11月14日(月)14時50分より、令和4年度第2回学校運営協議会を開催しました。
出席者：木原俊行(会長),神田敏生(副会長),中川智皓(委員),山本博資(委員),富士原純一(委員),
山本美恵子(委員) ※中川委員は Google Meet にて参加
宮城(校長),岩元(教頭),片寄(首席),杉田(首席)

議事に先立って授業観察を行い、生徒が主体的・能動的に取り組んでいる。集中力を感じいい雰囲気です。授業が進んでいるとの感想を頂いた。ICTの活用については、一人一台端末をもっと道具としてノート代わりに使用して欲しいとの意見もあり、今後の活用の進め方に課題を頂いた。

続いて、令和5年度使用教科書採択について審議いただき、その後校長より今年度のこれまでの教育活動および令和4年度学校経営計画の進捗状況について説明、報告をしました。

委員の方に見ていただいた資料は以下の4点です

- ①令和4年度学校経営計画及び学校評価について
- ②学校教育自己診断について
- ③令和4年度使用教科書について
- ④スクールミッションについて

<議題・協議事項>

○これまでの教育活動と学校経営計画進捗状況に対していただいた意見

・生徒が能動的に学べる授業づくりをしており生徒同士が話し合う環境が整っている。その一方で、少し消極的な生徒も見られた。

・ICTを活用しているが、表示された内容がすぐ消されることもあり、生徒の記憶に残っているのか疑問に感じた。板書が少ないように見えたのが残念であり、今後工夫して欲しい。

・今の子どもたちの傾向として、画面を見て覚えるのか書いて覚えるのかどちらなのか疑問に思う。

○学校教育自己診断

・1年生の肯定的回答が低い項目がある。これは、今年度に限ってのことなのか疑問である。

・昨年度の質問項目と比べているが、コロナのこともあるので、令和元年度・2年度あたりの数値と比べてもよいのではないかと。

・1人1台端末の肯定的回答が思っていたより低い。質問は今年度からではあるが、昨年度の方が使用率高かったかもしれない。

・保護者の結果から、質問4（子どもは授業が分かりやすいと言っている）の肯定的回答が1年生だけ低い。

○スクールミッション

・どんな若者を育てたいのか見えにくい。具体的に示すことが必要だと思う。

・スクールミッション（ア・イ）からスクールポリシー（ウ・エ）に繋がるようなことばが欲しい。

・ミッションとポリシーの間の説明が欲しい。

・夕陽丘高校の生徒が何を獲得（得るもの）するのか具体的に示してほしい。

・伝統校、音楽科をアピールし、同窓生の宝となるような文章を盛り込んでほしいかもしれない。

・観点別評価に関連するよう、項目ごとに分けてみてほしいかもしれない。

・ポリシーにあるキャリアデザインが各要素の欄に含まれていないのが気になる。

<議決事項> 令和4年度使用教科書

・特に大きく変化している様子はないが、学年が上がるより深く専門的な学びができるような教材を使用してほしい。

・情報の授業ではプログラミングの学習が必要

<まとめ>

授業観察や今年度の取組みについて、委員からいただいた上記意見をもとに、今後より意識を高く持って、教育活動を展開してまいります。

令和4年度 第3回 学校運営協議会の報告

令和4年度第3回会議は、2月2日(木)に開催いたしました。中川委員はZoomでの参加となりました。学校長の挨拶に続き、次の4点について校長・教頭から説明の後協議に入りました。

- ① 令和4年度学校経営計画および学校評価(案)について
- ② 令和5年度学校経営計画および学校評価(案)について
- ③ 令和3年度授業アンケートの結果について
- ④ スクールミッションについて

出席者

木原俊行(会長),山本博資(委員),富士原純一(委員),山本美恵子(委員),神田敏生(委員)

中川智皓(委員)※Zoomにて参加

<議題・協議事項>

(全体)

令和4年度学校評価(今年度の取組み)については、授業アンケートや学校教育自己診断からも全体的に印象が良く、特に英語教育については力を入れていることから、引き続き維持・充実させていく必要がある。コロナ禍の厳しい状況から少し緩和されてきていることや教員の熱量からも生徒が安心して学ぶことができている。しかし、学校の取り組み方として、コロナ前に戻していくのか、コロナ禍で始めた教育を続けていくのか疑問であるため、ICTの活用や教員の働き方改革などの視点も交えて考えていくことが必要である。

(音楽科)

◎音楽科の定員割れについて複数の意見を頂いた。

- ・学校パンフレットを置いていない学校があったように思う。HPと紙媒体の両方準備が必要。
- ・声楽や管楽器の生徒が減っているが、これはコロナだけの問題ではない。
- ・高校入試科目が、夕陽丘は5科目受験に対して他府県は3科目受験である。また夕陽丘合格のためには、学習

との両立が必要とするイメージがある。

- ・特別選抜(専門的な学科)を受ける生徒が少なく、将来の夢は決まっていないが大学に行って就職する思いを

持った生徒が多い。

(来年度に向けて)

アンケート結果を真摯に受け止め対応していくことや、観点別評価等の学習指導要領にも前向きに楽しく取り組んでいくことを期待している。遅刻・いじめについても、引き続き生徒、保護者が安心して通える学校にすると共に、国際交流や音楽科の教育を充実させ、夕陽丘らしい特色ある学校にしてほしい。学校経営計画については、スクールミッションの目標から、令和6年度に向けての経営計画を令和5年度から早々に考えていく必要がある。その際、PTA・同窓会も参加し中期的目標をリニューアルしてもよいのではないかという意見もあった。

<議決事項> 令和4年度学校経営計画および評価と令和5年度学校経営計画について、承認を受けた。

<まとめ>

今年度の取組みについて、コロナの影響のある中で、できることを着実にやり、定めた計画の指標を満たしている。との肯定的評価をいただいた。